

遊休農地解消で思い出の風景が復活～金井ひだまりファームの場合～

「金井ひだまりファーム」の立ち上げ

上田市丸子地域の東部に38戸の小さな金井集落があります。かつては、りんごや養蚕、薬用人参、葉たばこ等が盛んに栽培されていましたが、ご多聞に漏れず兼業化が進み、跡継ぎが帰ってこない家もあり、子供の頃に遊んだ山や田んぼ、畑が荒れてやぶや林になっていました。

毎月無尽会を開催しているうちに、自分たちの土地をなんとかしなくてはという気持ちと、小さい頃の懐かしい思い出から、遊休農地を解消して、昔の農地をよみがえらせようと、平成21年に「金井ひだまりファーム」を立ち上げました。メンバーは会社員や定年を迎えた人など現在8人。

遊休農地解消の経緯

21年から遊休化した田40aでもち米と大豆を作り、無理せず農作業に取り組む中で、荒れたところも何とかしようという思いが徐々にふくらんでいきました。

平成23年には、「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金」を活用し、77aを再生しました。

地区名	面積	交付金額	取組主体
丸子長瀬	77a	385千円	金井ひだまりファーム

再生作業は上田市や県、(株)甲信クボタの協力を得て、この場所で「再生作業実演・機械展示会(7月27日)」に併せて実施することができました。

子供たちとそば蒔き&収穫祭

再生した農地は、金井地区のPTAと子供見守り隊(地元のじいちゃん・ばあちゃん)の協力により、子供たちがそば蒔きやそば打ち体験を行いました。楽しく体験をしてもらうことにより、自分たちの地域への親しみが増していくことが期待されます。

かつては荒れ果てていたこの場所が農地に戻り、思い出の景観をとり戻すことができました。今後は、田舎の風景がいつまでも存続するよう、仲間を増やしながら、無理をせず、楽しくがんばっていきたいと考えています。

【報告：上小地方事務所農政課】

